

最果ての地。豪快なマグロ漁で賑わう町。

本州最北端に位置する大間町は、目の前に津軽海峡と北海道の雄大な山々が連なり、旅人の心を揺さぶる自然が広がる漁業を中心とした町。晴天の日は、北海道函館市の町並みまで見ることが出来ます。また、伝統の「マグロの二本釣り」で有名で海産物の宝庫。マグロ、イカ、アワビ、ウニなど高級魚介類の味の良さも格別です。

下北郡

【おおままち】

# 大間町

Oma Machi



このまちの

うまいもん!

Food



## 奥戸いもっこ

大間町奥戸地区では、全国的に希少となったばれいしょ品種「三円薯(さんえんいも)」を栽培しています。いも質は煮えやすく、茹で上がるとほどよく粉をふき、ホクホクで、口に入れるとサラサラとした食感が特徴です。

## 大間のマグロ

全国的に名を馳せる「大間のマグロ」は、「黒いダイヤ」とも呼ばれ、最高1億5,540万円の値がついたこともある近海マグロのトップブランド。8月～1月中旬にかけて、津軽海峡では漁師とマグロの真剣勝負が繰り広げられます。



Topics

## ぶらり立ち寄りスポット

### 大漁祈願祭 天妃様行列

毎年7月、操業の安全と豊漁を祈願して行われ、色とりどりの大漁旗を飾る数十隻の漁船が一斉に繰り出す様は鮮やかで、漁師町ならではの風景です。



### 本州最北端の碑(大間崎)

「こゝ本州最北端の地」と刻まれた大間崎にある石碑。目の前に広がる津軽海峡、北海道の山々や街並も望むことができ、撮影ポイントでもあります。